

2011年8月1日

HSBC ホールディングス plc  
2011年中間決算－ハイライト

中間決算の概要：

- 報告ベースの税引前当期純利益は2010年上半期比3%増、2010年下半期比45%増の115億米ドル\*。
- 普通株主帰属利益は2010年上半期比35%増、2010年下半期比46%増の89億米ドル。
- 平均普通株主持分利益率は2010年上半期の10.4%、2010年下半期の8.9%から12.3%に上昇。
- 1株当たり利益は2010年上半期比34%増、2010年下半期比46%増の0.51米ドル。
- 1株当たり純資産は2010年上半期比17%増、2010年下半期比8%増の8.59米ドル。
- 2011年に表明された配当額は12.5%増の普通株式1株当たり0.18米ドル。
- 貸倒引当金およびその他の信用リスク引当金は2010年上半期比30%減、2010年下半期比19%減の53億米ドル。
- 預貸率は2010年上半期の77.9%、2010年下半期の78.1%から78.7%に上昇。
- 狭義の中核的自己資本（以下コアTier1資本比率という）比率は前期末の10.5%から10.8%に上昇。

事業・地域別の概要：

- 商業銀行事業の利益は、収益の14%増加、顧客貸付金の前年度末比12%増加により31%増加。
- リテール・バンキング&ウェルス・マネジメント事業の利益は、貸倒引当金の減少により131%増加。
- グローバル・バンキング&マーケッツ事業の利益は12%減少。高い業績を残した2010年上半期には及ばなかったものの、堅調な水準を維持。
- すべての地域で黒字を達成。アジア、ラテン・アメリカ、中東、北米では利益増加。
- 収益は前年同期並みの357億米ドル。アジアとラテン・アメリカでは二桁成長。
- 顧客貸付金は貿易金融、新興諸国、欧州における需要が伸び、前年度末比8%増加。
- 米国ではクレジット・カード事業の戦略見直しが進行。ニューヨーク州北部を中心に非戦略的支店195店舗の売却を発表。
- ロシアとポーランドのリテール・バンキング事業からの撤退、保険事業3件の売却を発表。
- コスト効率比率は57.5%。2010年上半期は50.9%、2010年下半期は59.9%。

グループ・チーフ・エグゼクティブ スチュアート・ガリバーのコメント：

「今期業績には満足しております。私たちは、これからの長い旅路に向けて、正しい方向へ、一步を踏み出すことができました。」

主な業績指標*：	2011年 上半期	2010年 上半期	2010年 下半期	目標/ベンチ マーク
平均普通株主持分利益率	12.3%	10.4%	8.9%	12-15%
コスト効率比率	57.5%	50.9%	59.9%	48-52%
1株当たり利益（米ドル）	0.51	0.38	0.35	-
コア Tier1 資本比率	10.8%	9.9%	10.5%	9.5-10.5%**

\*別段に指定のない限り、業績は報告ベースの数値。

\*\*コア Tier1 資本比率はバーゼル III の定義に従って算出した暫定数値。

### HSBC ホールディングスの 2011 年上半期税引前利益は 114 億 7,400 万米ドル

HSBC の税引前当期純利益は 114 億 7,400 万米ドルと、2010 年上半期に比べ 3 億 7,000 万米ドル (3.3%) 増加した。

普通株主帰属利益は 89 億 2,900 万米ドルと、2010 年上半期に比べ 23 億米ドル (35%) 増加した。

純利息収益は 202 億 3,500 万米ドルと、2010 年上半期に比べ 4 億 7,800 万米ドル (2.4%) 増加した。

貸倒引当金およびその他の信用リスク引当金繰入額控除前の純営業収益は 356 億 9,400 万米ドルと、2010 年上半期に比べ 1 億 4,300 万米ドル (0.4%) 増加した。

営業費用総額は 205 億 1,000 万米ドルと、2010 年上半期に比べ 23 億 9,900 万米ドル (13.2%) 増加した。営業ベースおよび恒常通貨ベースで見て、営業費用は 10%増加した。

HSBC のコスト効率比率は 2010 年上半期の 50.9%に対し、57.5%となった。

2011 年上半期の貸倒引当金およびその他の信用リスク引当金は 52 億 6,600 万米ドルと、2010 年上半期に比べ 22 億 5,700 万米ドル減少した。

取締役会は 2011 年の第 2 回中間配当を普通株式 1 株当たり 0.09 米ドル、総額約 16 億 400 万ドルとすることを表明した。

2011 年 6 月 30 日現在のコア Tier1 資本比率と Tier1 資本比率はそれぞれ 10.8%と 12.2%と、高水準を維持した。

2011 年 6 月 30 日現在のグループ総資産は 2 兆 6,910 億米ドルと、2010 年 12 月 31 日時点から 2,360 億米ドル (9.6%) 増加した。

地域別の営業成績

税引前当期純利益／（損失）

	2011年上半期		2010年上半期		2010年下半期	
	百万 米ドル	%	百万 米ドル	%	百万 米ドル	%
欧州	2,147	18.7	3,521	31.7	781	9.8
香港	3,081	26.9	2,877	25.9	2,815	35.5
その他のアジア太平洋地域	3,742	32.6	2,985	26.9	2,917	36.8
中東と北アフリカ	747	6.5	346	3.1	546	6.9
北米	606	5.3	492	4.4	(38)	(0.5)
ラテン・アメリカ	1,151	10.0	883	8.0	912	11.5
	<b>11,474</b>	<b>100.0</b>	<b>11,104</b>	<b>100.0</b>	<b>7,933</b>	<b>100.0</b>
税金	(1,712)		(3,856)		(990)	
当期利益	<b>9,762</b>		<b>7,248</b>		<b>6,943</b>	
親会社株主帰属利益	9,215		6,763		6,396	
非支配株主持分帰属利益	547		485		547	

事業別の営業成績

税引前当期純利益／（損失）

	2011年上半期		2010年上半期		2010年下半期	
	百万 米ドル	%	百万 米ドル	%	百万 米ドル	%
リテール・バンキング& ウェルス・マネジメント事業	3,126	27.3	1,352	12.1	2,487	31.4
商業銀行事業	4,189	36.5	3,204	28.9	2,886	36.4
グローバル・バンキング& マーケット事業	4,811	41.9	5,452	49.1	3,763	47.4
グローバル・ プライベート・バンキング事業	552	4.8	556	5.0	498	6.3
その他	(1,204)	(10.5)	540	4.9	(1,701)	(21.5)
	<b>11,474</b>	<b>100.0</b>	<b>11,104</b>	<b>100.0</b>	<b>7,933</b>	<b>100.0</b>

## グループ会長 ダグラス・フリントのステートメント

HSBCは有望で妙味ある市場や顧客視点の事業の多くで優位な立場にあります。2011年上半期は、そこからさらに持続可能な価値を積み上げるべく、必要な進路を設定することに関し、大きく前進を果たすことができました。グループ・チーフ・エグゼクティブのスチュアート・ガリバーと彼のチームは、今年5月上旬に開催された「ストラテジー・デー」で、当グループの最優先課題を明らかにしました。スチュアート本人が本報告書のレビューで明確にしております通り、その優先課題は、今まさに実行に移されつつあります。現在、大規模な金融規制改革が進行中であることから、当グループは、HSBCが高い競争力をもって効率的にサービスを提供することのできるマーケット・セグメントに対し、資本とリソースを集中させるべく注力しています。

当期の営業成績は比較的安定したものとなったことから、上述の戦略的課題に取り組むHSBCの能力はさらに高まりました。急成長を遂げる新興国での収益拡大が、撤退を決定した事業の段階的縮小によるマイナスの影響を相殺したことが背景にあります。与信実績も改善を続け、2011年上半期の1株当たり利益は前年同期比34%増の0.51米ドルとなりました。この好調な業績をもたらした要因の詳細については、グループ・チーフ・エグゼクティブのレビューをご覧くださいと思います。

2010年決算報告の際に予告しました通り、取締役会は2011年に2回の中間配当を行うことを表明しました。配当額は普通株式1株当たり0.09米ドルです。第2回の中間配当は、2011年8月18日時点で香港海外支店に登録されている株主の皆様と、2011年8月19日時点で英国本店またはバミューダ海外支店に登録されている株主の皆様を対象に、2011年10月6日に支払われます。これらの配当額は、昨年中間期に表明された配当額を12.5%上回ります。

世界各国の規制当局と政府が、銀行の資本力増強に集中的に取り組むなかで、当期にHSBCの資本構成がさらに強化されたこと、欧州銀行監督機構（EBA）が金融機関を対象に実施した大規模なストレステスト（資産査定）において、当グループが十分にその基準をクリアしましたことをご報告でき、光栄に思います。ストレステストの結果は2011年7月15日に公表されましたが、当グループの場合、規制当局が最も重要視するコアTier1資本比率が、2010年6月30日時点の9.9%、同12月31日時点の10.5%から、2011年6月30日には10.8%にまで上昇しました。

2011年上半期は、金融規制改革の動きがさらに活発化しました。英国の銀行独立委員会（ICB）が2011年4月11日に中間報告書を発表、当グループはこれを受けて2011年7月4日、規制導入のタイムテーブルの決定に合わせて、同報告書の暫定的結論に対するコメントを発表しました。また当グループは、同報告書で提起された主な改革案のうち、「リング・フェンシング（資産の流出防止）」に関する議論に積極的に参加しています。これは、英国国内で設立されたユニバーサル・バンクの中核事業の一部について、（子会社化などを通じて）構造的に「資産の囲い込み」を行おうという概念です。当グループの場合、英国子会社のHSBC Bank plcが影響を受ける可能性があります。銀行の特定の事業を別の事業から切り離し、子会社化する「リング・フェンシング」は、中核事業をいわば「囲い場」の中に閉じ込めることによって、事業の耐性或継続性を高め、将来的に危機が発生した際に納税者に極力負担をかけないようにすることを目的としています。

現在行われている議論の多くは、様々に定義されている「リング・フェンシング」が、英国の実体経済に対する信用の供与と、英国国内で設立された銀行の競争力に対し、どれほどの影響を及ぼす可能性があるかを見極めようとするものです。この重要な判断は、最終的に主な2つの要素を考慮に入れて行うべきであると、当グループは考えます。1つは、実体経済への信用供与の量とそのコストが、改革によって、どれほどの影響を受けるのかという点です。もう1つは、バーゼルIII規制と欧州連合（EU）指令に従って実施されつつあるすべての改革措置に加えて、英国の改革案が段階的に導入された場合、それによって生じるメリットが、改革に必要な多額のコストと時間を補って余りあるほどのものになるのか、という点です。

当期における他の大きな動きとしては、「グローバルな金融システムを維持していく上で重要な金融機関（G-SIFIs）」と認定された銀行に対する追加的な資本規制に関し、バーゼル委員会と金融安定理

事会（FSB）が諮問文書を発表したことが挙げられます。同文書では、大手金融機関の場合、バーゼルIIIが求めるリスク加重資産に対する普通株資本の割合に、1～2.5%程度を段階的に上乗せすることが提案されています。HSBCの自己資本比率は、この段階的な上乗せ基準の上限、すなわち2.5%程度を上乗せした水準になるものと期待されます。これは「2010年度年次報告書および財務諸表」で言及致しました当グループのバーゼルIIIコアTier1資本比率の予想（9.5～10.5%）とほぼ同じ水準です。

世界の景気回復のペースが鈍化しつつあると見られるなかで、金融規制改革の動きは加速し、規制の範囲も拡大しています。足元では各国政府の信用不安や財政再建問題が深刻化しており、その中で一連の金融改革が進められた場合、世界経済の中で投資資金の引き上げ（デレバレッジ）がさらに加速し、景気変動の増幅という形で影響が出る可能性が懸念されます。

世界の金融市場は、年内から2012年にかけても不安定な状態が続くものと見られます。今後、政治面で生じかねない様々な制約について、市場参加者がその評価と対応に追われ、最適な投資判断を適切なタイミングで行うことが難しくなっているためです。実際のところ、世界経済は現在、様々な難問に直面しています。その問題は、ユーロ圏の政府債務問題に対する持続可能な解決手段の追求から、新興国のインフレ圧力、コモディティ価格上昇への対応、民主化運動に沸く中東地域の社会改革と民衆団結への支援、新興国の至上命題である経済成長と資産価格バブルの影響抑制の両立、そして最も重要なものとして、米国における財政規律の維持とその財源確保のための長期的枠組みに関する協議に至るまで、多岐に渡ります。

最後に、取締役会による統治と監督のもと、スチュアート・ガリバー率いる新たな経営陣が一丸となり、承認された戦略計画を効率的に実行し成果を上げていることを報告でき、嬉しく思います。未だ為すべきことは多く、前述した通り現在の経済状況には多くの課題が存在します。しかしながら当グループ内の志気は高く、行く手に待ち受けている諸問題に取り組むべく、真の決意と熱気に溢れています。

## グループ・チーフ・エグゼクティブ スチュアート・ガリバーによるレビュー

## HSBC の業績は改善

- 報告ベースの税引前当期純利益は 2010 年上半期比 3%増、2010 年下半期比 45%増の 115 億米ドル。
- 普通株主帰属利益は 2010 年上半期比 35%増、2010 年下半期比 46%増の 89 億米ドル。
- 平均普通株主持分利益率は 2010 年上半期の 10.4%、2010 年下半期の 8.9%から 12.3%に上昇。
- コスト効率比率は 57.5%。2010 年上半期の 50.9%から上昇、2010 年下半期の 59.9%から低下。
- 預貸率は 2010 年上半期の 77.9%、2010 年下半期の 78.1%から 78.7%に上昇。
- 2011 年に 2 回の中間配当を行うことを表明。配当総額は前年比 12.5%増の普通株式 1 株当たり 0.18 米ドル。
- コア Tier1 資本比率は 2010 年 12 月 31 日時点の 10.5%から、2011 年 6 月 30 日には 10.8%に上昇。

## 戦略の進展

HSBC のグローバル・ネットワークは、世界の貿易と資金の流れの大部分をカバーしており、富の蓄積した先進国経済のみならず、新興諸国経済へのアクセスも可能としています。当グループは今年 5 月、この優位なポジションを足掛かりとして、世界の経済動向や人口の変化を商機として捉えることで、世界有数の金融機関となるための戦略を打ち出しました。また、1) 資本をより効率的に配分し、2) コスト効率の改善を図り、3) 特定の市場において成長を実現するための計画について、概略を示しました。当グループは、これら 3 つの目標のすべてにおいて前進をしています：

- まず効率的な資本配分についてですが、当グループの事業ポートフォリオの見直しと 5 つの条件に照らした事業選別作業の結果として、一部事業からの撤退と売却を決定し、発表しました。具体的には、ロシアとポーランドでリテール・バンキング事業から撤退したほか、保険事業 3 件を売却致しました。より大規模な見直しを行ったのは米国事業で、クレジット・カード事業の戦略的見直しを進めたほか、ニューヨーク州北部を中心に非戦略的支店 195 店舗の売却を発表しました。
- 次にコスト効率の改善についてですが、当グループは 2013 年までに 25~35 億米ドルのコストを継続的に削減することを目標としています。2011 年年初からラテン・アメリカ、米国、英国、フランス、中東で業務再編を開始しており、最終的にこれらの国・地域で約 5,000 人の人員削減を行う予定です。また本社ならびに世界各拠点のサポート部門でのコスト削減計画を始動するとともに、商業銀行、リテール・バンキング&ウェルス・マネジメントの各事業についても、より効率的なビジネスモデルの採用を始めました。
- 最後は特定の市場における成長ですが、当グループの事業は引き続き成長軌道にあります。戦略的に焦点を当てている市場で収益が増加し、ウェルス・マネジメント事業では特にアジアを中心に投資収益が高い伸びを示すなど成果を上げました。さらに HSBC グローバル・アセット・マネジメントの運用資産総額が当期末に過去最高水準に達しました。

## 収益

- 当グループの総収益は 357 億米ドルと、2010 年上半期と同水準、2010 年下半期からは 9%増加しました。

- 香港、その他のアジア太平洋地域、ラテン・アメリカの収益は 2010 年上半期比で二桁の成長を遂げました。
- ランオフ・ポートフォリオ残高の削減を続けた米国事業、ならびにこれ以上のポジション改善が見込めない「バランスシート・マネジメント」においては、予想通り収益が減少しました。グローバル・バンキング&マーケッツ事業においては、他の多くの金融機関と同様に、欧州における与信収益、金利収益が減少しました。

### 貸倒引当金

- 貸倒引当金は 2010 年上半期の 75 億米ドル、2010 年下半期の 65 億米ドルから 53 億米ドルに減少しました。
- 最も改善が見られたのは米国です。消費者金融事業のランオフ・ポートフォリオおよびクレジットカード債権のポートフォリオの残高は過去最低となり、同時に返済延滞率も改善しました。しかしながら第 2 四半期には返済延滞率の改善ペースが鈍化しました。
- グローバル・バンキング&マーケッツ事業においては、貸倒引当金およびその他の信用リスク引当金が減少しました。

### コスト効率

- コスト効率比率は 2010 年上半期の 50.9%から 57.5%に上昇しました。事業への戦略的投資を背景に、従業員数の増加や賃金の上昇、事業の成長に伴うその他のコストの発生が、コスト効率比率上昇の要因となりました。その他当期に特に目立った一部のコスト項目については報告を行いました。
- 一般支出を抑え、持続的なコスト削減を進めたことから、コスト効率比率は 2010 年下半期の 59.9%からは低下しました。
- 四半期ベースで見ますと、2011 年第 2 四半期のコスト効率比率（54.4%）は 2010 年第 3 四半期以降、最も低い水準となっています。

### バランスシート

- 顧客勘定残高は、2010 年度末から 913 億米ドル（7%）増加して 1 兆 3,000 億米ドルとなりました。最も高い伸びを見せたのは欧州とアジアです。
- 顧客貸付金は北米を除くすべての地域で増加し、2010 年度末から 795 億米ドル（8%）増の 1 兆米ドルとなりました。北米では消費者金融事業のポートフォリオ残高を削減しました。
- コア Tier1 資本比率は、主に利益の創出により、2010 年度末の 10.5%から当期末には 10.8%に上昇しました。

### 経済見通し

HSBC は新興国市場の経済見通しについて楽観的な見方を維持しています。中国経済はソフト・ランディング、つまり緩やかな減速を実現するものと予想され、香港は景気の過熱を緩和する態勢がすでに整っているようです。その他のアジア太平洋地域とラテン・アメリカ経済は引き続き成長を遂げる見通しで、各国当局がインフレ圧力の抑制に注力していることが安心材料となっています。中東においても、湾岸協力会議（GCC）諸国の経済見通しが良好です。

先進国のうち米国と欧州諸国は、高水準の政府債務や財政支出の削減が景気を下押し、低成長が続くものと見られます。英国では金融規制措置が検討段階にあり、規制に対する不透明感が払拭されていません。これによって経済への信用供与が抑制され、潜在成長率を下回る成長となることが引き続き懸念されます。

最後に、私が当グループの今期業績に満足していることを言い添えたいと思います。私たちは、これからの長い旅路に向けて、正しい方向へ、一歩を踏み出すことができたと言えるでしょう。

2011年 上半期			2011年 上半期	2010年 上半期	2010年 下半期
百万ポンド	百万香港ドル		百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
		<b>上半期</b>			
7,102	89,302	税引前当期純利益	11,474	11,104	7,933
5,527	69,494	親会社普通株主帰属利益	8,929	6,629	6,117
2,480	31,179	配当金	4,006	3,261	3,089
		<b>上半期末</b>			
100,156	1,247,066	総株主持分	160,250	135,943	147,667
108,615	1,352,387	自己資本総額	173,784	154,886	167,555
902,791	11,240,834	顧客勘定および銀行預り金	1,444,466	1,274,637	1,338,309
1,681,867	20,941,261	総資産	2,690,987	2,418,454	2,454,689
730,331	9,093,493	リスク加重資産	1,168,529	1,075,264	1,103,113
ポンド	香港ドル		米ドル	米ドル	米ドル
		<b>普通株式1株当たり</b>			
0.32	3.97	利益（基本ベース）	0.51	0.38	0.35
0.31	3.89	利益（希薄化後ベース）	0.50	0.38	0.34
0.13	1.63	配当金 <sup>1</sup>	0.21	0.18	0.16
5.37	66.85	純資産	8.59	7.35	7.94

**株式情報**

0.5 億米ドル：発行済普通株式	17,818	17,510	17,686
	百万株	百万株	百万株
時価総額	1770	1610	1800
	億米ドル	億米ドル	億米ドル
普通株式株価（終値）	6.18 ポンド	6.15 ポンド	6.51 ポンド
	1年	3年	5年
2011年6月30日までの総株主リターン <sup>2</sup>	104.6	104.9	95.6
ベンチマーク： FTSE100	124.9	118.4	122.6
MSCI ワールド	122.3	127.9	132.6
MSCI 銀行	111.0	103.2	77.5

1 本財務諸表に表示した普通株式1株当たり配当金0.21米ドルは、2011年上半期に表明された配当金の総額である。これは2010年第4回中間配当と2011年第1回中間配当の合計額となる。

2 総株主リターン (TSR) は「2010年度年次報告書および財務諸表」のP.227において定義されている。

	2011年 上半期	2010年 上半期	2010年 下半期
	%	%	%
<b>財務比率</b>			
平均投下資本利益率 <sup>1</sup>	11.4	9.4	8.2
平均総普通株主持分利益率	12.3	10.4	8.9
税引後平均総資産利益率	0.7	0.6	0.6
税引後平均リスク加重資産利益率	2.0	2.0	1.4
<b>効率比率および収益構成比率</b>			
コスト効率比率	57.5	50.9	59.9
総営業収益に対する：			
- 総利息収益比率	47.8	48.6	50.0
- 総手数料収益比率	20.8	20.9	22.5
- 総トレーディング収益比率	11.4	8.7	9.3
<b>自己資本比率</b>			
- コア Tier1 資本比率	10.8	9.9	10.5
- Tier1 資本比率	12.2	11.5	12.1
- 総自己資本比率	14.9	14.4	15.2

## 1 平均投下資本は、平均総株主持分

+IFRS (国際財務報告基準) への移行前の償却済み営業権の平均残高または移行後に引当金に直接戻し入れた償却済み営業権の平均残高 (2008年に売却したフランスの地方銀行については売却前に償却済みの営業権を控除)

-HSBC が自社使用目的で保有する資産に関する再評価剰余金の平均残高。この準備金はIFRS への移行時に当該資産のみなし原価を決定する際に発生したもので、当該資産の売却時に取り崩される。

-HSBC ホールディングスの平均発行済み優先株およびその他の資本証券

-実効的なキャッシュフロー・ヘッジと売却可能有価証券に係る平均未実現利益 / (損失) 準備金として計測される。

2011年 上半期			2011年 上半期	2010年 上半期	2010年 下半期
百万ポンド	百万香港ドル		百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
19,217	241,631	受取利息	31,046	28,686	29,659
(6,692)	(84,142)	支払利息	(10,811)	(8,929)	(9,975)
12,525	157,489	純利息収益	20,235	19,757	19,684
6,775	85,177	受取手数料	10,944	10,405	10,712
(1,323)	(16,632)	支払手数料	(2,137)	(1,887)	(1,875)
5,452	68,545	純手数料収益	8,807	8,518	8,837
2,001	25,147	純利息収益を除くトレーディング収益	3,231	2,309	2,371
979	12,305	トレーディング業務に係る純利息収益	1,581	1,243	1,287
2,980	37,452	純トレーディング収益	4,812	3,552	3,658
(306)	(3,845)	発行済長期債およびその派生商品の 公正価値変動分	(494)	1,125	(1,383)
244	3,066	公正価額で表示されているその他金融 商品からの純収益／(損失)	394	(40)	1,518
(62)	(779)	公正価額で表示されている金融商品 からの純収益／(損失)	(100)	1,085	135
300	3,775	金融投資からの利益(損失控除後)	485	557	411
54	677	受取配当金	87	59	53
4,147	52,146	純既経過保険料	6,700	5,666	5,480
795	10,001	その他の営業収益	1,285	1,478	1,084
26,191	329,306	営業収益合計	42,311	40,672	39,342
(4,096)	(51,500)	純既発生保険金および保険契約者債務の 変動	(6,617)	(5,121)	(6,646)
22,095	277,806	貸倒引当金およびその他の信用リスク 引当金前純営業収益	35,694	35,551	32,696
(3,260)	(40,985)	貸倒引当金およびその他の信用リスク 引当金	(5,266)	(7,523)	(6,516)
18,835	236,821	純営業収益	30,428	28,028	26,180
(6,513)	(81,885)	人件費	(10,521)	(9,806)	(10,030)
(5,212)	(65,525)	一般管理費	(8,419)	(7,014)	(8,142)
(498)	(6,265)	有形固定資産償却費および減損損失	(805)	(834)	(879)
(474)	(5,954)	無形資産償却費および減損損失	(765)	(457)	(526)
(12,697)	(159,629)	営業費用合計	(20,510)	(18,111)	(19,577)
6,138	77,192	営業利益	9,918	9,917	6,603
964	12,110	関連会社および合弁会社からの 利益分配金	1,556	1,187	1,330
7,102	89,302	税引前当期純利益	11,474	11,104	7,933
(1,059)	(13,324)	税金	(1,712)	(3,856)	(990)
6,043	75,978	当期利益	9,762	7,248	6,943
5,704	71,721	親会社株主帰属利益	9,215	6,763	6,396
339	4,257	非支配持分帰属利益	547	485	547

	2011年 上半期 百万米ドル	2010年 上半期 百万米ドル	2010年 下半期 百万米ドル
当期純利益	9,762	7,248	6,943
<b>その他包括利益／（損失）</b>			
売却可能投資			
– 公正価値評価益	1,378	4,698	1,670
– 売却により損益計算書に振り替えられた公正価値（評価益） ／評価損	(529)	(574)	(600)
– 減損により損益計算書に振り替えられた評価損	287	678	440
– 法人所得税	–	(596)	119
	<b>1,136</b>	4,206	1,629
キャッシュフロー・ヘッジ			
– 公正価値評価益／（評価損）	231	(1,687)	1,509
– 損益計算書に振り替えられた公正価値評価益／（評価損）	(196)	1,644	(1,808)
– 法人所得税	5	(2)	73
	<b>40</b>	(45)	(226)
確定給付年金プラン関連の保険数理利益／（損失）			
– 法人所得税控除前	(18)	(82)	22
– 法人所得税	(1)	22	(23)
	<b>(19)</b>	(60)	(1)
その他包括利益のうち関連会社および合弁会社の持分 為替差額	(146)	73	34
為替差額に係る法人所得税	4,404	(6,128)	5,561
	<b>165</b>	–	–
当期のその他包括利益／（損失） – 税効果後	<b>5,580</b>	(1,954)	6,997
当期包括利益	<b>15,342</b>	5,294	13,940
当期包括利益の帰属：			
– 親会社株主	14,728	4,901	13,186
– 非支配株主持分	614	393	754
	<b>15,342</b>	5,294	13,940

2011年 上半期末			2011年 上半期末	2010年 上半期末	2010年 下半期末
百万ポンド	百万香港ドル		百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
<b>資産</b>					
42,636	530,872	現金および中央銀行預け金	68,218	71,576	57,383
9,411	117,181	受取為替	15,058	11,195	6,072
12,341	153,656	香港政庁債務証券	19,745	18,364	19,057
296,844	3,696,061	トレーディング資産	474,950	403,800	385,052
24,728	307,895	公正価額で表示されている金融資産	39,565	32,243	37,011
162,920	2,028,550	デリバティブ資産	260,672	288,279	260,757
141,277	1,759,067	銀行貸付金	226,043	196,296	208,271
648,680	8,076,844	顧客貸付金	1,037,888	893,337	958,366
260,536	3,243,982	金融投資	416,857	385,471	400,755
29,689	369,666	その他の資産	47,503	42,140	43,251
929	11,572	当期税金資産	1,487	1,070	1,096
7,848	97,711	前払金および未収収益	12,556	11,586	11,966
11,801	146,940	関連会社および合弁会社持分	18,882	15,701	17,198
20,018	249,242	営業権および無形資産	32,028	27,859	29,922
7,246	90,225	有形固定資産	11,594	13,291	11,521
4,963	61,797	繰延税金資産	7,941	6,246	7,011
<b>1,681,867</b>	<b>20,941,261</b>	<b>資産合計</b>	<b>2,690,987</b>	<b>2,418,454</b>	<b>2,454,689</b>

2011年 上半期末			2011年 上半期末	2010年 上半期末	2010年 下半期末
百万ポンド	百万香港ドル		百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
		<b>負債および自己資本</b>			
		<b>負債</b>			
12,341	153,656	香港流通紙幣	19,745	18,364	19,057
78,424	976,478	銀行預り金	125,479	127,316	110,584
824,367	10,264,356	顧客勘定	1,318,987	1,147,321	1,227,725
10,198	126,979	支払為替	16,317	11,976	6,663
241,140	3,002,482	トレーディング負債	385,824	274,836	300,703
61,425	764,815	公正価額で表示されている金融負債	98,280	80,436	88,133
160,641	2,000,169	デリバティブ負債	257,025	287,014	258,665
93,627	1,165,767	社債	149,803	153,600	145,401
19,739	245,779	その他の負債	31,583	71,732	28,050
1,643	20,459	当期税金負債	2,629	2,558	1,804
40,282	501,558	保険契約債務	64,451	52,516	58,609
8,395	104,528	未払費用および繰延収益	13,432	12,174	13,906
1,892	23,556	引当金	3,027	1,828	2,138
723	9,004	繰延税金負債	1,157	1,264	1,093
1,849	23,019	退職給付債務	2,958	3,949	3,856
20,471	254,883	劣後債務	32,753	28,247	33,387
<b>1,577,157</b>	<b>19,637,488</b>	<b>負債合計</b>	<b>2,523,450</b>	<b>2,275,131</b>	<b>2,299,774</b>
		<b>自己資本</b>			
5,568	69,330	資本金	8,909	8,755	8,843
5,251	65,377	株式発行差金勘定	8,401	8,423	8,454
3,657	45,532	その他持分	5,851	5,851	5,851
19,428	241,903	その他準備金	31,085	18,721	25,414
66,252	824,924	留保利益	106,004	94,193	99,105
<b>100,156</b>	<b>1,247,066</b>	<b>総株主持分</b>	<b>160,250</b>	<b>135,943</b>	<b>147,667</b>
4,554	56,707	非支配株主持分	7,287	7,380	7,248
<b>104,710</b>	<b>1,303,773</b>	<b>自己資本合計</b>	<b>167,537</b>	<b>143,323</b>	<b>154,915</b>
<b>1,681,867</b>	<b>20,941,261</b>	<b>自己資本および負債合計</b>	<b>2,690,987</b>	<b>2,418,454</b>	<b>2,454,689</b>

	2011年 上半期 百万米ドル	2010年 上半期 百万米ドル	2010年 下半期 百万米ドル
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>			
税引前当期純利益	11,474	11,104	7,933
調整項目：			
- 投資活動からの純利益	(544)	(1,111)	(587)
- 関連会社および合弁会社からの利益分配金	(1,556)	(1,187)	(1,330)
- 税引前純利益に含まれるその他非現金項目	8,825	9,553	9,334
- 営業資産の変動	(92,560)	14,130	(27,397)
- 営業負債の変動	130,301	(1,389)	43,661
- 外貨換算差額消去	(16,046)	17,993	(19,792)
- 関連会社からの受取配当金	246	198	243
- 確定給付年金債務向け拠出金	(588)	(2,899)	(422)
- 税金	(1,709)	(247)	(2,046)
営業活動による純キャッシュ	<u>37,843</u>	<u>46,145</u>	<u>9,597</u>
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>			
金融投資購入	(156,596)	(199,567)	(141,635)
金融投資の売却および満期による手取金	153,407	178,272	143,574
有形固定資産購入	(665)	(739)	(1,794)
有形固定資産売却手取金	194	3,338	1,035
ローン・ポートフォリオ売却手取金	-	929	3,314
無形資産純購入	(893)	(521)	(658)
子会社株式の取得による純キャッシュ流出	-	(34)	(52)
子会社売却による純キャッシュ流入	5	191	275
関連会社株式の取得および増加による純キャッシュ流出	(39)	(563)	(1,026)
資金の連結除外による純キャッシュ流出	-	-	(19,566)
関連会社および合弁会社売却手取金	11	171	83
投資活動に使用された純キャッシュ	<u>(4,576)</u>	<u>(18,523)</u>	<u>(16,450)</u>
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>			
普通株式資本の発行	13	-	180
優先株式の発行	-	3,718	-
値付け目的および投資目的による自社株式の純売却	27	61	102
株式報奨およびストックオプション報奨のための 自社株式（購入）／売却	(27)	19	(8)
ストックオプションの行使	-	61	(59)
劣後ローン資本の発行	-	1,329	3,152
劣後ローン資本の返済	(2,574)	(2,408)	(67)
子会社株式の持分変動による純キャッシュ流出	-	-	(229)
親会社普通株主への配当金	(2,192)	(2,126)	(1,315)
非支配株主持分への配当金	(321)	(329)	(266)
その他持分保有者への配当金	(286)	(134)	(279)
財務活動による／（財務活動に使用された）純キャッシュ	<u>(5,360)</u>	<u>191</u>	<u>1,211</u>
<b>現金および現金同等資産の純増加／（減少）</b>	<b>27,907</b>	<b>27,813</b>	<b>(5,642)</b>
期首現金および現金同等資産	274,076	250,766	265,910
現金および現金同等資産に関する外貨換算差額	10,368	(12,669)	13,808
期末現金および現金同等資産	<u>312,351</u>	<u>265,910</u>	<u>274,076</u>

	2011年 上半期	2010年 上半期	2010年 下半期
	百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
<b>資本金</b>			
期首	8,843	8,705	8,755
従業員持株制度に基づいて発行された株式	1	3	9
配当に代えて発行された株式およびそれに基づいて発生した金額	65	47	79
期末	8,909	8,755	8,843
<b>株式発行差金勘定</b>			
期首	8,454	8,413	8,423
従業員持株制度に基づいて発行された株式	12	58	110
配当に代えて発行された株式およびそれに基づいて発生した金額	(65)	(48)	(79)
期末	8,401	8,423	8,454
<b>その他の持分</b>			
期首	5,851	2,133	5,851
当期中に発行された資本証券	-	3,718	-
期末	5,851	5,851	5,851
<b>留保利益</b>			
期首	99,105	88,737	94,193
配当に代えて発行された株式およびそれに基づいて発生した金額	1,334	1,584	940
株主配当金	(4,006)	(3,261)	(3,089)
配当金に係る税額控除	64	54	68
自己株式調整	(225)	80	94
ストックオプションの行使および失効ならびに株式報酬の権利確定	-	(119)	119
株式報酬契約費用	588	371	441
株式報酬に係る法人所得税	36	(14)	-
その他の変動額	37	(30)	(28)
支配の喪失を伴わない子会社持分の変動額	-	-	(50)
当期包括利益	9,071	6,791	6,417
期末	106,004	94,193	99,105
<b>その他の準備金</b>			
売却可能金融資産に係る公正価値準備金			
期首	(4,077)	(9,965)	(5,520)
その他の変動額	14	294	(77)
当期包括利益	1,146	4,151	1,520
期末	(2,917)	(5,520)	(4,077)
キャッシュフロー・ヘッジ準備金			
期首	(285)	(26)	(57)
その他の変動額	-	8	(1)
当期包括利益	40	(39)	(227)
期末	(245)	(57)	(285)
外国為替準備金			
期首	2,468	2,994	(3,010)
その他の変動額	-	(2)	2
当期包括利益	4,471	(6,002)	5,476
期末	6,939	(3,010)	2,468

	2011年 上半期	2010年 上半期	2010年 下半期
	百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
合併準備金			
期首	27,308	27,308	27,308
期末	27,308	27,308	27,308
<b>総株主持分</b>			
期首	147,667	128,299	135,943
従業員持株制度に基づいて発行された株式	13	61	119
配当に代えて発行された株式およびそれに基づいて発生した金額	1,334	1,583	940
当期中に発行された資本証券	-	3,718	-
株主配当金	(4,006)	(3,261)	(3,089)
配当金に係る税額控除	64	54	68
自己株式調整	(225)	80	94
ストックオプションの行使および失効ならびに株式報酬の権利確定	-	(119)	119
株式報酬契約費用	588	371	441
株式報酬に係る法人所得税	36	(14)	-
その他の変動額	51	270	(104)
支配の喪失を伴わない子会社持分の変動額	-	-	(50)
当期包括利益	14,728	4,901	13,186
期末	160,250	135,943	147,667
<b>非支配持分</b>			
期首	7,248	7,362	7,380
株主配当金	(413)	(409)	(316)
その他の変動額	1	(1)	4
子会社の取得および売却	(261)	-	(436)
支配の喪失を伴わない子会社持分の変動額	98	35	(138)
当期包括利益	614	393	754
期末	7,287	7,380	7,248
<b>自己資本合計</b>			
期首	154,915	135,661	143,323
従業員持株制度に基づいて発行された株式	13	61	119
配当に代えて発行された株式およびそれに基づいて発生した金額	1,334	1,583	940
当期中に発行された資本証券	-	3,718	-
株主配当金	(4,419)	(3,670)	(3,405)
配当金に係る税額控除	64	54	68
自己株式調整	(225)	80	94
ストックオプションの行使および失効ならびに株式報酬の権利確定	-	(119)	119
株式報酬契約費用	588	371	441
株式報酬に係る法人所得税	36	(14)	-
その他の変動額	52	269	(100)
子会社の取得および売却	(261)	-	(436)
支配の喪失を伴わない子会社持分の変動額	98	35	(188)
当期包括利益	15,342	5,294	13,940
期末	167,537	143,323	154,915